

STAN

ShareTask ANSYS 連携

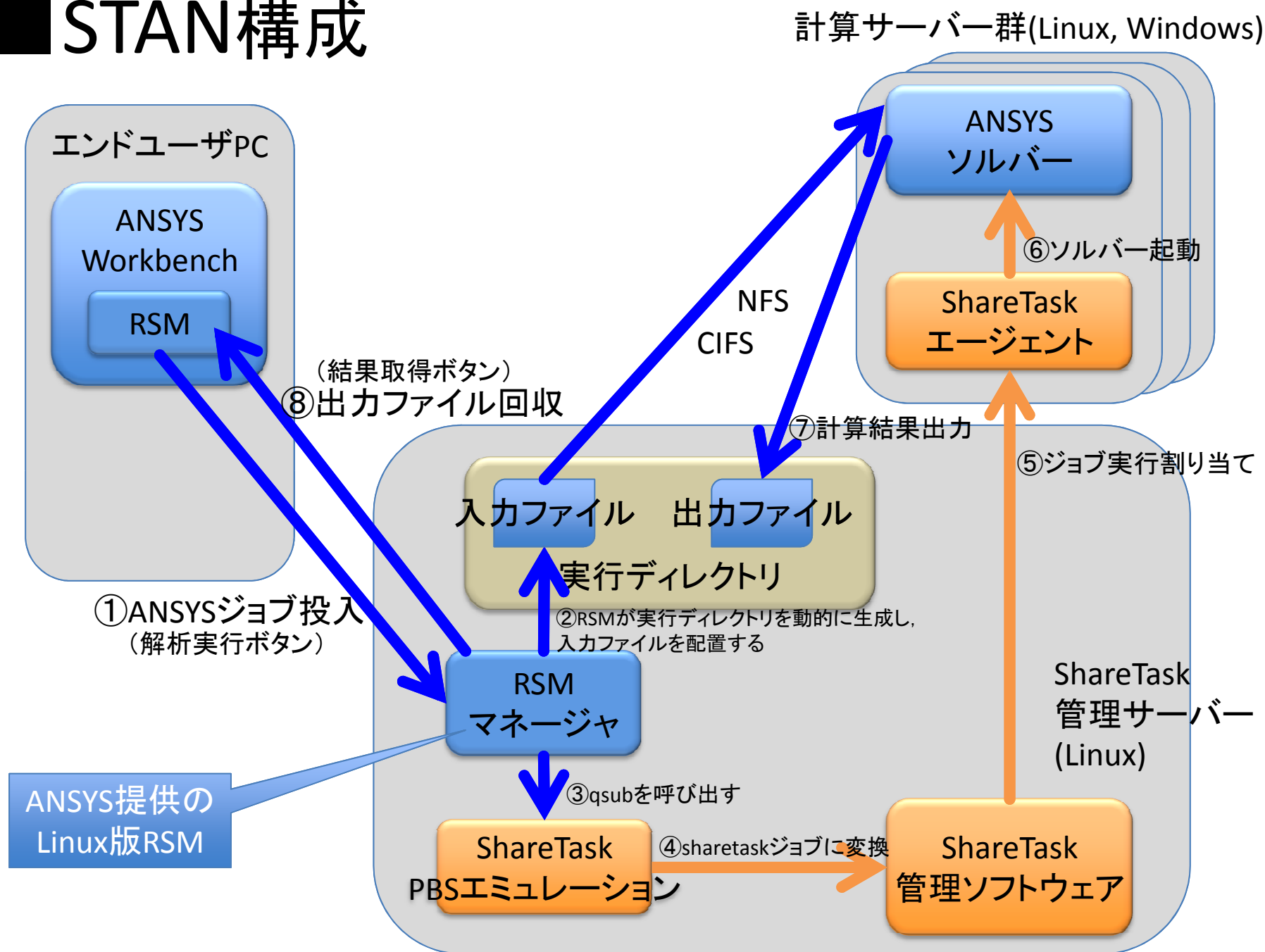
ANCL

2015年3月

■ STAN 目的

- ANSYS **Workbench**の解析計算を遠隔の計算サーバーで実行する環境を提供する.
 - ローカルPCをソルバー実行から解放する
 - RSMの問題点を**ShareTask**で補っている
- 計算サーバーは, Linux, Windowsどちらも可
 - Linuxクラスター, 遊休PCを活用
- 使い勝手は変わらない
 - ジョブ投入: Workbenchの解析実行ボタン
 - 実行状況確認: 結果検索ボタン
 - ポスト処理: 結果取得ボタン

STAN構成



■ STAN 特徴

- Workbench側に専用ソフトのインストールが不要
- 使い勝手が変わらない
 - PCローカルでのソルバー実行と同じ使い勝手
- Workbenchの設定は簡単
 - [ソルバープロセス設定]ダイアログ
 - ShareTask管理サーバーのIPアドレスを設定
 - Linux側ジョブ実行アカウント／グループは, 追加引数欄で指定
例: user=ansys group=P1234
- RSMユーザー登録
 - ShareTask管理サーバー側で集中管理
 - PC側でのユーザー登録不要

■ STAN 実績

- 自動車サプライヤ大手
 - 2015年3月運用開始
 - ソルバー同時実行数：5
 - 計算サーバー：Linux, Windowsの混合環境
 - サポート体制：サイバネットシステム社と協力